

日本屈指の観光エリアである三重県の伊勢志摩で、60年以上にわたり国内外からの観光客を迎え入れてきた鳥羽国際ホテルが、宴会場や客室といった主要スペースの照明器具をLEDランプ器具にリニューアル。新たな照明環境の創出を可能にするとともに、蛍光灯2027年問題への対応を進めました。

三重県鳥羽市の主水岬に建つ鳥羽国際ホテルは、1964年に海外要人を迎えられる国際級ホテルとして開業した、伊勢志摩エリアを代表する格式高いリゾートホテルです。鳥羽湾を望むオーシャンビューの絶景を主役にした開放的な建築、地元食材を生かした上質な料理、真珠の地ならではのスパ体験など、評価ポイントも数多く、伊勢志摩観光や伊勢神宮参拝、記念日のお祝いなど、幅広い層のお客さまで賑わっています。



【物件概要】
所在地：三重県鳥羽市鳥羽1-23-1
構造・規模：鉄筋コンクリート造、地上8階建
敷地面積：73,737.01㎡
建築面積：3,183.67㎡
延床面積：11,092.65㎡
施主：三井不動産株式会社(伊勢志摩リゾートマネジメント株式会社)
施工：電気／エルティライト株式会社(村田電気)
竣工：2026年2月



ハーバーウイング/5階宴会場「潮騒」の照明 天井折り上げ部の建築化照明は既設の蛍光灯器具に代えて調光調色照明器具①を採用
周縁部のダウンライトは白熱ランプ器具からLED器具②へリニューアル

空間演出の幅を広げる調光調色器具の採用など、照明リニューアルがホテルの魅力をいっそう向上。

「真珠の海に抱かれるリゾート」をコンセプトとしている鳥羽国際ホテルは、海岸線沿いに建てられたオーシャンウイングとハーバーウイングの名を持つ2つの棟で構成された客室計約84室の、海の眺めを主役にした日本の「風景型リゾート建築」を代表するリゾートホテルです。2011年の大規模リノベーション、2024年の開業60周年リニューアルを経て、この度、蛍光灯2027年問題を見据えた照明リニューアルが実施され、客室、宴会場、ザ・ロビーラウンジの照明がLED化されました。
今回の照明リニューアルでは、既設器具を同タイプのLED器具に置き換

えることに加え、宴会場「潮騒」ではより幅広い照明演出ができるように、建築化照明に新たに調光調色器具を採用しました。電球色かつ低照度のクラシカルなイメージから昼白色かつ高照度の視作業に適した環境まで、明るさも色温度も異なる複数パターンの照明環境が実現でき、結婚式などの宴会はもとより会議やセミナーなどでの利用も可能になりました。シーン切り換えなどの照明操作を集約した新たな操作卓も導入しています。
全体的に、格式高い雰囲気を損なうことなく、より来訪されるお客さまに喜ばれる魅力的な価値を付加する照明リニューアルとなりました。



宴会場「潮騒」の照明シーン例 建築化照明には直付形の調光調色器具①144台を使用してさまざまな照明環境を創出(左/電球色パターン 右/昼白色パターン)



オーシャンウイング/ザ・ロビーラウンジの照明
2700KのLEDランプと組み合わせたLEDダウンライト④を計24台配置



宴会場「潮騒」の照明演出
フルカラーLEDスポットライト③を2台採用



オーシャンウイング/5階メンテナンススイート
3000KのLEDライン器具⑤によりシックな空間を演出



オーシャンウイング/4階ツイン・タタミスイート
間接照明⑤とシーリングライト⑥により落ち着いた雰囲気演出

主な搭載器具一覧					
設置場所	器具名(品種名)	形名	台数	備考	
屋内	① 調光調色照明器具 直付形W70 一般タイプ 6,900lmタイプ	LEKT407692C-LC9	144	消費電力：51.0W	
	② LEDユニット交換形ダウンライト 一般形 銀色鏡面反射板 φ125・広角 高効率タイプ1000シリーズ	LEKD102024LV-LD9	49	消費電力：7.9W	
	③ LEDスポットライト	VL800 PROPAP	2	消費電力：260W(最大)	
	④ LEDダウンライト LEDユニットフラット形タイプ 高気密SGI 形 φ125	LEDD85000N	24	消費電力：6.7W	
	⑤ LED屋内用ライン器具 全長1,200mm	LEDL-12401L-LS9	4	消費電力：21.2W	
	⑥ LEDシーリングライト 調光・調色 ベーシック(リモコン同梱)〜8畳	LEDH8106B01-LC	1	消費電力：37.4W	